

2021年度

第一回 アドバンスト入試

時間50分 100点満点

国語

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施時間は50分で、100点満点です。時間配分に注意して解答してください。
3. 解答は解答用紙にていねいに記入してください。
4. 解答用紙・問題用紙両方に、受験番号、座席番号、名前を記入してください。座席番号は、机に貼ってある番号のことです。
5. 試験中は携帯電話の電源を必ず切ってください。
6. 私語や物の貸し借りなどは認めていません。困ったことがある場合は、手をあげて先生に相談しその指示に従ってください。

受験番号 _____ 座席番号 _____

名 前 _____

聖学院中学校

□ — のカタカナを漢字にしなさい。

- ① パンクしたシャリンをとりかえる。
- ② シカク試験に合格する。
- ③ 読書に関するコウエンを聞く。
- ④ 先生のシジをしっかりと聞く。
- ⑤ 父はショウケン会社につとめてる。
- ⑥ 世界各国とボウエキする。
- ⑦ 文章をノートにウツす。
- ⑧ お墓に花をソナえる。
- ⑨ 長い時間をツイやして完成した作品。
- ⑩ もう一度ケントウする必要がある。

一 次の文章を読み、後の問に答えなさい。(、や。なども一字とします)

駅近くにあつた蕎麦屋で、母と向き合つて天ぷら蕎麦を食べた。びつくりするくらいまずかつた。うちの近所の村田庵だつてもっとましな蕎麦を出す。なのに母ときたら、おいしい、おいしいと連発する。やっぱり東京の店は違うわね」なんて言う。私
はむつりとして、半分残して箸を置いた。もつたないと言い、私の残したぶんまで食べる母に、苛立ちを通り越して嫌悪まで
覚えはじめる。

蕎麦屋を出る。春特有のふわふわした陽射しが商店街を染め抜いている。

ぢやあつた、もう帰つていいよ、おかあさん「私はもうきつらほうに言った。

ぢも、まだ荷ほどきもしてないじゃない」

あれっぼうちの荷物、私ひとりだつて、すぐ片ついちゃう」

掃除も、もう一回したほうがいいんじゃない」

ちつきしたばかりじゃないの」

「ただ、台所はなんだか汚れが落ちなかったし」

店先で言い合う母子を、通りすがりの人がちらりと眺めていく。

もういいって「強い口調で私は言った。本当のことを言うと、母といっしょにあのしよぼけたアパートに帰りたかった。何度でもいっしょに掃除をしてもらいたかった。あの狭苦しい台所で、夕食の支度をしてほしかった。魚の煮つけ、切り干し大根、たらここと葱の入った卵焼き、家のテーブルに並ぶような夕食。そして、布団を並べていっしょに眠ってほしかった。苛立った私の八つ当たりを、とんちんかん言葉で受け流してほしかった。けれど今日泊まってもらったら、明日も泊まってもらいたくなる。私は今日から、たつた今から、ひとりで、あの部屋で、なんとか日々を過ごしていかななくてはならないのだ。

① もういいって。帰って「私は言った。泣きそうな自分の声が耳に届く。

「あつ、いやだ、おかあさん、忘れてた」

突然母が素つ頓狂な声で叫ぶ。

「何、忘れもの？」

そうじゃないの、あのね、鍋なべ。鍋を用意してあげるのを忘れてた」

母は言い、すたすたと商店街を歩き出す。コートを着た母のうしろ姿が、陽をあびてちかちかと光る。私はちいさな子どものように、母のあとを追う。

鍋なんかいいよ」

おくないわよ、鍋がなきゃなんにもできないじゃないの。あんたもね、料理くらい覚えなさい。フライパンひとつでできるものなんか料理とは言わないの、きちんと鍋せろを揃そろえて、煮炊にたきをしなさいよ」

母は得意げに言いながら、店先に茶碗ちやわんを並べた雑貨屋に入っていく。店のなかは、食器や鍋や、ゴミ箱や掃除用品、ありとあらゆるものが所狭しと並んでいた。母は通路にしゃがみこみ、片かた端はしから鍋を手に取っていく。これはなんだか重いわね」これじゃあいかにも安やすっぽい」こんなに馬鹿でかくても困るしね」ひとりごとをつぶやきながら、鍋をひっくり返したり片手で揺すつてみたりしている。私は母のわきに突つっ立たって、隅すみに整然と並んでいる※1ルクルーゼの鍋を見ていた。高校生のころ、女性誌で見て、ひとり暮らしをしたら買いたいと決めていたルクルーゼである。色も橙だいだい色と決めていた。けれど、これがほしいと母

にはなんだか言えなかった。②「こんなもので料理なんかできません」と母は言うような気がした。実際、母の作ってきたものは、ル・クルーゼとは不釣り合いだった。あのアパートに橙のル・クルーゼがあっても、なんだか滑稽だとも思った。

「それがいいわ」

思いきり立ち上がった母はずみでよろけ、体を支えようと咄嗟に柵に手をつき、積んであった鍋がものすごい音を出して転がり落ちる。店内にいた客が陳列棚から首だけ出してこちらを見ている。

「やだ、もう」顔が火照るのを感じながら私はつぶやく。

「やだもうはこちのせりふよ」③母も赤い顔をして、転げ落ちた鍋を懸命に元に戻している。大丈夫ですかあ」店員が歩いてくる。

「あらまあ、ごめんなさいね、あのね、この子、春からこの先のアパートでひとり暮らしをするの、それで鍋と思ってね、選びにきたんだけど、やだ、こんなにしちやつて。大丈夫かしら、傷なんかついてない？ えーと、私が選んだのはどれだったかしら、しやうがないわねえ」

おばさんらしい饒舌じょうぜつさる母はべらべらとしゃべり、さっき選んだ鍋を店員に押しつけるように渡している。鍋は大、中、小と三つあった。

「三つもどらないんじゃないか」

「うるわよ、ちいさい鍋で毎朝お味噌汁みそしるを作りなさい、大きい鍋は筑前煮ちくぜんとか、あとお魚を煮るときにね。中くらいのは南瓜かぼちゃとか里芋なつととか、そういうちよつとしたものを煮るのに便利だから」まだ顔の赤い母は念押しするように説明しながら、バッグから財布を取り出している。

「この子ね、はじめてひとり暮らしするんですよ。ご近所だし、何かあったらよろしくお願いいたしますね」

母は若い店員に向かって頭を下げ、鍋を包んでいた店員は困ったように私を見、かすかに会釈えしやくした。

母とは店の前で別れた。アパートについて荷ほどきをすると母は言い張ったが、ひとりで大丈夫だと私はくりかえした。

そうね。これからひとりでやっていかなきゃならないんだもんね」

④母は自分に言い聞かせるようにつぶやいて、幾度か小刻みにうなずくと、顔のあたりに片手をあげて、くるりと背を向け

た。ふりかえらず、よそ見をすることなく、陽のあたる商店街を歩いていく。母に渡された重たい紙袋を提げ、遠ざかる母のうしろ姿を私はずいぶん長いあいだ眺めていた。母のうしろ姿はあいかかわらず陽にさらされてちかちかと光っている。カートを引いて歩く老婆、小走りに駆へ向かうスーツ姿の男、幼い子どもの手を引く若い母親、いつもと変わらぬ町を歩く人々の合間を、母はまっすぐ歩いていく。雲のない空の下で商店街はふわふわと明るい。⑤この光景を、ひよつとしたら私は一生忘れないかもしれない、ふいにそんなことを思った。そんなことを思ったら急に泣き出しそうになった。ひとりになって泣くなんて子どもみたい。私は母が向かう先とは反対に走り出す。かんかんと音をさせてアパートの階段を駆け上がり、紙袋の中身を取り出した。いつのまに母が頼んだのか、それとも店員が気をきかせたのか、大中小、三つの鍋はプレゼント用に包装されていた。でこぼこの包装紙のてっぺんに、こいていねいにリボンまでついている。みず色のリボン。ひとりきりになったちいさな部屋のなか、思わず私は笑ってしまふ。

⑥あのととき母がくれたのは、いったいなんだったんだろうと思うことが、最近になってよくある。

もちろんそれはただの鍋である。けれど、鍋といつて片づけてしまうには、あまりにもたくさんものごとであるように思える。

(角田光代 鍋セット)

※1ル・クルーゼ・・・調理器具や食器を取り扱うフランスの会社

問一……a・bの語の意味としてもつともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

a ぶっきまぼう

ア、えらそうな態度

イ、興味をしめさない態度

ウ、相手を馬鹿にしたような態度

エ、愛想のない態度

b 素つ頓狂

ア、その場の雰^{ふん}囲^{いき}気にそぐわない

イ、いいかげんでそそっかしい

ウ、深く物事を考えていない

エ、こつけいで面白い

問二——①について、主人公の心情としてもっともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア、道の真ん中で親子げんかするなんてはずかしくてしかたない。

イ、なんで私はおかあさんみたいに前向きになれないのだろう。

ウ、さつきからおかあさんの的外れな言葉にはもうウンザリ。

エ、おかあさんが帰ってくれないと、このままお母さんにあまえたくなってしまう。

問三——②について、「おかあさん」は「ル・クルーゼ」をどのようなものと考えているか。もっともふさわしいものを選び、記号

で答えなさい。

ア、実用性よりも、見た目を優先したもの。

ウ、安っぽくてすぐにごわれそうなもの。

イ、かざりつけのないシンプルなデザインのもの。

エ、とても大きくて頑丈がんじょうそうなもの。

問四——③について、このときの「母」の気持ちが行動に表れている一文を、文中よりぬき出し、最初の五字を答えなさい。

問五——④について、この一文には、「母」のどのような心情が表れているか。解答欄に合う形で簡潔に答えなさい。

問六——⑤について、なぜ「この光景を、ひよっとしたら私は一生忘れないかもしれない」と思ったのか。その理由を解答欄に

合う形で簡潔に答えなさい。

問七——⑥について、「母がくれたもの」とはなにか。一五字以上三〇字以内で答えなさい。

三 次の文章を読み、後の間に答えなさい。(、や。なども一字とします)

a 世襲社会せしゅうかいも悪いことばかりではありません。なんといつても、生まれたときから地位が決まっている世界だけに、争いがないくてひじょうに穏やかおだです。

こうした社会において、俺おれは自分の才覚で出世したいんだ」という人が出てくると、秩序ちつじょが乱れることになるのですが、日本人はなんといつても草食系。このヒエラルキーをぶっ壊こわして、俺がトップまで行つてやる」という型の人のはめつたに出てこない。

それに頑張つて出世するといつても限界があつて、才覚で頭角を現そうとする奴やつはだいたい嫌われます。たとえば普原道真すかむらのみちざねみたいに身分の分限を超えて出世する人間が出てくると、叩たたかれる。妙みょうに分ぶんを超えて、世襲の殻からを破つて出世すると叩かれます。まさに「①」です。

よく言えば、まつたりして争いがない風土ですが、日本社会においては下剋上げくじょうの論理ろんりがなかなか働かない。そうした形で国が動いてきた。下手に野心を抱いだかず、下剋上なんて考えない。そういう生き方が、ずっと日本では※1推奨すいしょうされてきたのです。

しかし、このまつたりした歴史のなかで、血よりも能力だ」という才能主義を掲げた唯一の政府がありました。明治政府です。

生まれつきを超えて頭角を現す人のことを「出頭人」と言いますが、明治の前、②江戸時代は、この出頭人が否定された社会でした。

戦争がなくなつて社会は穏やか。秀吉のような出頭人のチャンピオンはもう要らない。その結果、武士の世界は、ほぼ生まれがすべてという形になり、藩の政治も、あるいは幕府の政治も、関与できるのは特定の家の人だけ」という状況になつた。

だからこそ福沢諭吉(一八三五—一九〇二)は、封建制度は親の仇でござる」と言つたわけです。この言葉は「門閥制度は親の仇でござる」と言い換えられることもあります。「福翁自伝」に書かれています。親の仇の封建制度のなかで育つた

福沢は、アメリカに渡つたときに、アメリカ人にジョージ・ワシントンの子どもたちが今どこで何をしているかと訊いた。そうしたらわからない」と。福沢は「③そうした社会があるのか」とひじょうに驚いたと言います。実は、福沢の父親はすごく有能な人でした。しかし封建制度の下、中津藩の小役人で終わつて、若死にしまつていたのです。

しかし、そうした江戸の泰平も、終わる。なにが終わらせたかというところ、これは「存じのとおり外圧」です。ペリーが黒船でやって来て開国を迫った。

その結果、このまま、まったりした世襲社会でいくと、日本は植民地になってしまう」という危機感がたかまった。西欧列強に対抗しなければならぬ」と皆が考え、幕府を倒し、国の形が変わった。そうして生まれた明治政府は、日本において、世襲原理をいったん括弧に入れた形で世の中を回そうとした、唯一の政府だったと思います。

この政府は血を否定した。A 明治政府をつくった※2元勳たちは、才能というものを頼りに出世してきた、下級武士の出身者が多い。彼らは、自分の子どもや孫に対して、手厚い配慮をしていません。まさに西郷隆盛 一八二八―一八七七の言った「子孫に④美田を残さず」です。

たとえば大久保利通 一八三〇―一八七八、伊藤博文 一八四一―一九〇九、山県有朋 一八三八―一九二二の子どもたちが、次の総理大臣や軍司令官になりましたかということになっていない。彼らクラスになると、さすがにそれはない。伊藤博文の子どもが、この場合養子でもいいのですが、養子や子どもが総理大臣になったかということになっていない。あるいは山県有朋、

山県は十一人も子どもがいて皆育たないという私生活では悲劇的な人ですが、その養子が陸軍大将にはなっていない。

⑤ 明治政府は世襲を否定していたのです。そのかわりに原理となったものが「立身出世」でした。とにかく勉強しなさい、世の中の役に立ちなさいということで帝国大学がつくられ、そこで官僚がつくられた。あまり世の中の役には立たないけれども、文学部もとりあえずつくられた。文学部をつくってくれたということは、明治政府はまだ「懐が深かった」と言えるのかもしれませんが。ともかくそういう形で明治は、世襲という原理を一度は脇に置いて、全面的には受け容れない時代でした。

B 明治政府の元勳たちは華族制度をつくり、元老制度もつくっています。その点は、ヨーロッパの貴族制度のようなものを取り入れたほうがいいのかな」という感覚はあったわけですね。イギリスが特に※3 顕著でしたが、当時、ヨーロッパは貴族がいて平民がいるという、強固な階級制の社会でした。それに比べると日本はあの時期、もしかすると世界でいちばん平等かもしれない社会が、突然生まれていたということになります。⑥ これは本当に驚くべき変化でした。

(本郷和人 考える日本史)

※1 推奨……すぐれている点をあげて、人にすすめること。

※2 元勳……国政に対して大きな功績があった者。

※3 顕著……際立って目につくさま。

問一 ……aについて、文中での「世襲社会」の意味としてもっともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア、地位や職業などを子孫が受け継ぐ社会

ウ、話し合いや多数決で物事を決める社会

イ、歌舞伎や俳句などの伝統文化を大切にする社会

エ、女性よりも男性の方が重んじられる社会

問二(①) () について、() に入ることわざとしてもっともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア、鳶とびが鷹たかを生む

イ、瓢箪ひょうたんから駒こま

ウ、一階から目薬

エ、出る杭は打たれる

問三——②について、江戸時代はなぜ「出頭人」が否定される社会になったのでしょうか。その理由を次のようにまとめました。(あ)(い)(う)に入る語の組み合わせとしてもつともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

江戸時代が、(あ)(い)(う)を重んじ、生まれ「や」血筋」を優先する世襲社会だったから。

ア、(あ)能力 (い)平等

ウ、(あ)軍備 (い)平和

イ、(あ)発展 (い)自由

エ、(あ)変化 (い)安定

問四——③について、そうした社会」とはどのような社会でしょうか。その説明としてもつともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア、戦争がなくなった平和な社会

ウ、身分や階級の存在しない平等な社会

イ、才能や実力が尊重される合理的な社会

エ、だれも他人のことに関心を抱かない社会

問五 [A]と[B]に入る語の組み合わせとしてもっともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア、 [A] それゆえ

[B] しかし

ウ、 [A] そもそも

[B] ただし

イ、 [A] もともと

[B] さらに

エ、 [A] そうして

[B] なおかつ

問六 — ④について、「ニニという 美田」とはどのような意味の語でしょうか。漢字二文字で言いかえなさい。

問七 — ⑤について、なぜ 明治政府は世襲を否定したのでしょうか。その理由を簡潔に説明しなさい。

問八 — ⑥について、本当に驚くべき変化」とありますが、筆者はどのようなことに驚いているのでしょうか。簡潔に説明し

なさい。

三				二					一					
問八		問七		問四	問一	問七		問六	問五	問四	問二	問一	⑥	①
												a		
				問五	問二						問三		⑦	②
							15					b		
				問六	問三								⑧	③
							30							
													⑨	④
													⑩	⑤
							24	12						

をしたときに見た光景だから。
 という決意が表れている。

受験番号
座席番号
名前

2021年度

第一回アドバンスト入試
 入学考査問題

国語・解答用紙

聖学院中学校